

埼玉マンホール事故、点検会社が行田市に安全策確約も保護具装着せず

関東

+ フォローする

2025年8月5日 1:51



保存



埼玉県行田市で下水管の点検中、男性作業員4人がマンホールに転落し死亡した事故で、行田市は4日、点検業務を委託した下水道調査会社「三栄管理興業」（さいたま市）が転落防止のため、保護具の使用を確約する業務計画書を6月に行田市へ提出していたと明らかにした。

実際には4人とも転落時、保護具を装着していなかった。県警は安全管理に問題がなかったかどうかを含め、当時の状況を捜査している。

行田市に提出された業務計画書では、硫化水素の濃度を測定し、安全を確認してから作業を実施することも約束していた。同社によると、現場で別の作業員が4人の転落を確認した際、検知器は、国の基準値（10PPM以下）の15倍以上を示していた。

市は労災を防ぐための法令に基づき、作業中に酸素を送るマスクの着用を求めているが、現場には準備されていなかった。

県警によると、亡くなったのは行田市の本間洋行さん（53）らいずれも50代の男性社員4人。本間さんがマンホール内のはしごを下りている途中で意識を失って落下。その後、救助しようとした3人も転落したとみられる。4人とも頭部などに擦り傷や打撲があった。

事故は2日午前に発生。同日夕方までに全員救助されたが、搬送先の病院で死亡が確認された。〔共同〕

【関連記事】

- ・ [国交省、下水管点検の安全徹底を自治体に要請 埼玉マンホール事故で](#)
- ・ [埼玉のマンホール4人死亡、死因は硫化水素中毒や窒息か](#)
- ・ [埼玉マンホール事故、硫化水素は基準値の15倍超 転落防止器具着けず](#)